

### 教育目標&特色

京都帝国大学医科大学として創設され、幾多の世界に誇る指導的な医学者・医学研究者を輩出してきた名門。医療の第一線で活躍する優秀な臨床医、医療専門職とともに、次世代の医学を担う医学研究者、教育者の養成をその責務としている。京都大学医学部が育てるのは、単に既存の知識を応用して医療にあたるだけでなく、病気など医学事象の背後にあるものを見抜き、自分の頭で考え、新たな知を創出できる人間、また、広く社会と人間行動を理解し病める人の感情を洞察できる人間、社会全体の健康をめざし高い倫理観を持って行動する人間である。また、これを人類すべてに発信できる国際性豊かな人間を育てることも使命としている。ウイルス・再生医科学研究所、iPS 細胞研究所などからは世界を牽引する多数の研究業績が誕生している。

### カリキュラムの特色

カリキュラムの流れをみると、1年次では基礎教養科目の学習が主となり、人文科学・社会科学、自然科学、外国語を幅広く学習して基盤的知力、学術的教養を身につけ、将来の学習の基礎となる地盤を形成する。同時に医師・医学研究者の素養を育むべく、研究室で実際に研究の手法を学ぶラボ・ローテーション、医療機関でのボランティア実習を通してコミュニケーション能力を養う外来患者支援実習、病棟体験実習、また、生命科学をテーマに少人数のゼミ形式で教員と議論し英語でのプレゼンテーション能力を養う基礎医学生物学を開講している。2年次には、基礎教養科目とともに医学部の授業としてコミュニケーションを中心とし、プレゼンテーションなども英語で行う科学英語(医学)が設けられている。2年次から本格的に始まる医学教育の特色として「レベル・システム方式」があげられる。これは、伝統的な学問体系に即した授業(解剖学、生理学、病理学など)について、はじめに分子や細胞など人体の構成要素(レベル)において、その構造、機能などを横断的に学習し、続いて人体の臓器別の機能と病理(システム)をさらに深く学習する。専門的な医学的知識とともに、患者とのコミュニケーション能力、チーム医療の重要性なども学習。また、4年次の秋学期には、京都大学が誇る世界レベルの研究室や海外の大学・研究機関に学生を配属、指導教員の助言・指導のもとに学生自身の適性に合った研究活動に専念するマイコース・プログラムという自主的な研究期間を設けている。このプログラム中の研究成果が国際学会等で発表されることもある。5年次から6年次にかけては、実際に病院に出て臨床実習を行う。地域の中核となる大規模な関連病院が数多くあり、附属病院とこれらの関連病院で臨床経験を積む。実習では診療各科をローテートしながら臨床の実際を学び、地域医療機関と連携し、豊富な臨床経験をもつ指導医による少人数教育が行われる。移植医療や分子治療・再生医療などの先端医療の臨床を体験できるのも臨床実習の特徴である。海外の大学・医療機関での実習希望者にも積極的にサポートを行い、グローバルに活躍する医師を養成する。すべての授業が必修科目で、授業と臨床実習によって理論的な基礎と実際の医療現場での活用を学ぶことになるが、MD-PhD コースが用意されており、研究に専念することを希望する学生には、4年次終了後、臨床教育を受けずに大学院に進学し、基礎医学研究に専念することも可能である。

### 大学DATA

- ◆沿革 明治 30 年代に医科大学を創設。京都医科大学、京都帝国大学医学部を経て、昭和 24 年に医学部を設置した。
- ◆学部所在地 \*吉田キャンパス=問合せ先に同じ。**アクセス**京阪電鉄で神宮丸太町駅下車、徒歩約 10 分。JR 京都駅前から市バス 206 系統で約 35 分、近衛通下車。阪急電車河原町駅から市バス 201 系統で約 25 分、近衛通下車。
- ◆学部学科・定員 医学部=医学科 107 名
- ◆大学院 医学研究科=医学専攻 170 名
- ◆おもな附属施設 附属病院、ウイルス・再生医科学研究所、iPS 細胞研究所、先天異常標本解析センター、脳機能総合研究センター、ゲノム医学センターなど。
- ◆学寮 吉田寮・定員 241 名(男子・女子)、熊野寮・定員 422 名(男子・女子)、女子寮・定員 35 名。いずれも他学部と共用。

**参考資料**

●医師国家試験合格率

区分	全 体				新 卒				既 卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	121	119	110	92.4%	110	110	105	95.5%	11	9	5	55.6%
2016	114	111	103	92.8%	106	105	101	95.3%	8	5	2	40.0%
2015	121	118	110	93.2%	108	108	106	97.2%	13	10	5	50.0%

●学校納付金(2018年度)

区 分	入学手続時	初年度総額	2年次以降
入学金	282,000円	282,000円	-
授業料	267,900円	535,800円	535,800円
合 計	549,900円	817,800円	535,800円
6年間総計	3,496,800円		

\*ほかに諸会費が必要になる。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほかに、地方公共団体や民間奨学団体の奨学金制度がある。

# 2018 年度入試要項

## 募集人員

区分	一般前期	一般後期	特色入試	A O	編入学
医学科	102	-	5	-	-

## 試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般入試	前期日程	1月22日～1月31日	2月25日～27日	3月10日	3月14日
	後期日程	募集しない			
特色入試	1次選考	11月1日～11月7日	書類選考	11月30日	
	2次選考		12月16日・17日	1月15日	2月14日

\*特色入試の2次選考は小論文が16日、その合格者に課す面接が17日。

## 一般入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
センター試験	国語	国。	50	80
	地歴・公民	世B、日B、地理B、倫政経→1。	50	60
	数学	数I・数A、数II・数Bの計2。	50	各60
	理科	物、化、生→2。	50	各60
	外国語	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓→1。	50	80
個別試験	国語	国総・現B・古B。	150	90
	数学	数I・数II・数III・数A・数B(列ベ)。	250	150
	理科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	300	180
	外国語	コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II、独、仏、中→1。	300	120
	面接	個人面接。	段階評価	-

\*面接は医師・医学研究者としての適性・人間性などを評価する。

## 特色入試(推薦入試)

①推薦条件＝人格・識見とも特段に優れ、全体の評定平均値が4.7以上または国際バカロレアのスコア42以上で、TOEFL-iBTまたはIELTS(アカデミックモジュール)スコアを提出できる現役。1高校から1名。ただし、国際科学オリンピック(数学、物理、化学、生物)日本代表で世界大会に出場した者(平成31年3月卒業見込みの高2生)は別枠で1名推薦可能。②選考方法＝書類審査の合格者に小論文を課し、その合格者に面接を課す。小論文は理科(物理・化学・生物のうち2科目)の基礎知識を必要とし、論理的思考力、文章表現力などについて評価。面接は京都大学が望む医学研究者・医師としての適性、社会的能力、科学的能力などについて評価する。小論文120点、面接240点。

\*合否判定 一般入試はセンター試験・個別試験の総合点で判定する。面接の結果によっては学科試験の成績の如何にかかわらず不合格となることがある。

\*二段階選抜 一般入試はセ試の得点が900点満点中630点以上の者を約3倍で実施する。

\*試験場 一般・特色＝本学吉田キャンパス(J京阪電鉄で神宮丸太町駅下車、徒歩約10分。JR京都駅前から市バス206系統で約35分、近衛通下車。阪急電車河原町駅から市バス201系統で約25分、近衛通下車)。

\*受験料 一般17,000円、特色17,000円

## 入試のポイント

一般入試は前期のみ募集する。入試科目はセンター試験が5教科7科目、個別試験が国語・数学・理科・外国語の4教科＋面接。配点ウエイトは極端な個別試験重視だから、個別対策に重点をおきたい。各教科とも相当ハイレベルな問題が多い。教科書を徹底的にやって基礎を完全にしたいうえで、参考書などで応用力をつけておきたい。合

格者の得点率をみると、センター試験を加えた最低ラインが71.1%程度。センター試験では高得点をマークする者ばかりだから、個別試験はなかなか得点しにくい難問ぞろいということになる。過去問を研究し、傾向をつかんだ上で実力アップを図っておきたい。今春の出題内容をみると、国語は現代文2題、古文1題で、出典は、現代文が串田孫一著『山村の秋』、安藤宏著『私をつくる 近代小説の試み』、古文が中島広足著『海人のくぐつ』だった。数学は複素数平面と軌跡、ベクトル、図形と三角関数など6題。物理は力学、電磁気、波動の3題。化学は有機化合物の構造決定など4題。生物は神経、免疫など4題。英語は読解(2題)、和文英訳、英作文の4題だった。2段階選抜も行われるので、センター試験対策も無視できない。ケアレスミスをしないように基礎固めを完全にしておこう。調査書は面接の参考資料とするほか、特記事項の内容を重視して合否判定の評価対象としている。

# 2017 年度入試DATA

## ●入学者選抜実施状況

\* 2段階選抜は第1段階不合格者数を示す。

区分	募集人員	志願者	2段階選抜	受験者	当初合格	追加合格	合格者	競争率	入学辞退	入学者
前期	105	331	11	319	111	0	111	2.9	0	111
特色	5	5	0	5	2	0	2	2.5	0	2

## 【合格者の成績】

カッコ内は2016年度。

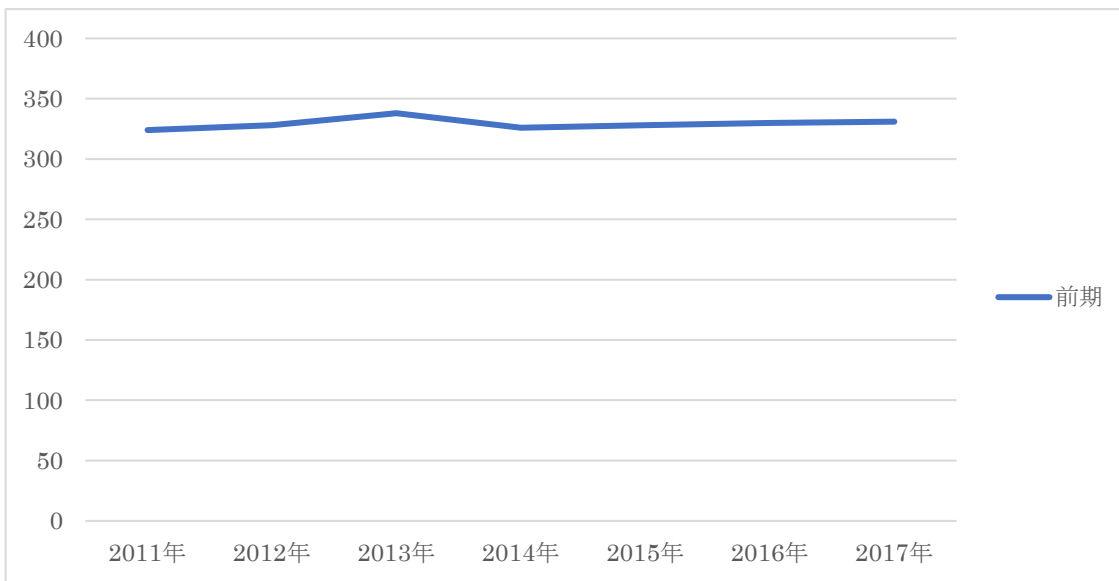
区分	配点	最高点	最低点	平均点
前期	1250(1300)	1044.20(1080.20)	888.50(897.65)	944.16(958.66)

\*入学者の現浪別内訳(前期) 現役79人、浪人32人。

\*入学者の男女別内訳(前期) 男子94人、女子17人。

\*入学者の出身地別内訳(前期) 兵庫42人、京都18人、愛知12人、大阪・奈良各8人、東京・広島各3人、三重・鹿児島各2人、北海道・埼玉・富山・長野・滋賀・和歌山・岡山・香川・高知・福岡・長崎・大分・宮崎各1人。

## 【志願者数の推移】



## ●小論文の内容

一般入試は課さない。特色入試は理科(物理・化学・生物のうち2科目)の基礎知識を必要とするものを課し、論理的思考力、文章表現力などについて評価する。

## ●面接の内容

一般入試は個人面接で、履歴書・志望理由などを記載した書類を提出させ、調査書を参考資料として行い、医師や医学研究者としての適性を評価する。可否の判定は「医学部が望む学生像」に記載されている医師・医学研究者としての適性・人間性などについて評価を行い、評価によっては学科試験の成績の如何にかかわらず不合格となる。特色入試は京都大学が望む医学研究者・医師としての適性、社会的能力、科学的能力などについて評価する。